

第25回 日遊協 通常総会

「自らの立ち位置を示そう」

庄司体制2期目がスタート



会となる。

冒頭、庄司孝輝会長は「日遊協は活性化プロジェクトを立ち上げ、昨年来新しい遊べる遊技機の実現について全

第25回日遊協
通常総会は6月5日、
東京・西新宿のハイアットリー
ジェンシー東京で開かれた。一般社
団法人に移行後、初の定時社員総

PR活動の重要性を説く庄司孝輝会長▶

日遊連、日工組と話し合いを持つてきた。そして『活性化』はパチンコ・パチスロ産業21世紀会の14団体による2014宣言に盛り込まれ、産業全体で推進していこうという動きになっている。今後カジノ立法の審議がある。そのとき、われわれは自分たちの立ち位置をきちんと示さないといけない。自ら浄化することもそうだし、課題に対して各団体が一緒になって進んでいくことを世の中に発信していく。新しい遊べる遊技機開発のPR、産業の実態調査とそのPR、これらをしっかりとやっていく年になる。団体の枠にこだわらず

に考えていかなければならない。ファン育成の視点を持って、この産業を見直していきたい」と述べた。

和久田守彦氏副会長に

29理事、2監事を承認

任期満了に伴う役員の変更が行われた。全機連推薦の安藤利彦理事(副会長)(株アスカ)が退任し、後任の理事として監事の和久田守彦氏(株愛知商会)が提案された。その他の理事は留任とし、和久田氏を含めた計29人の理事が承認された。和久田氏の後任の監事に中部遊商理事長の林和宏氏(株ライズ)が提案され承認された。監事の平澤黎哲氏(株山水)の健康上の理由による退任が報告された。

総会を中断して臨時理事会が開かれ、会長、副会長、専務理事、常務理事の互選が行われた。会長は庄司氏の続投が満場一致で決ま



副会長に就任した和久田守彦氏



臨時理事会で庄司体制継続を決めた理事、監事が勢ぞろい

日遊協新体制 (○印は新任。50音順)

会長	庄司 孝輝	ピーアークホールディングス(株)
副会長	大久保正博	大丸商事(株)
同	兼次 民喜	(株)オリンピア
同	谷口 久徳	(株)ニラク
同	筒井 公久	(株)SANKYO
同	韓 裕	(株)マルハン
同	福井 章	(株)ボネール
同	山田 久雄	(株)九州エース電研
同	○和久田守彦	(株)愛知商会
専務理事	篠原 弘志	員外(事務局)
常務理事	伊東 慎吾	員外(事務局)
理事	秋田 光勇	(株)エース電研
同	内ヶ島 隆寛	(株)高尾
同	大饗 裕記	(株)アス・ワン
同	栢森 秀行	ダイコク電機(株)
同	岸野 誠人	東和産業(株)
同	後藤 信行	(株)ナオ
同	小林 友也	(株)北電子
同	篠原 菊紀	諏訪東京理科大学
同	白石 良二	(株)千歳観光
同	知念 安光	(株)安田屋
同	堤 義成	ラーネット総合法律事務所
同	西村 拓郎	日拓ホーム(株)
同	樋口益次郎	三宝商事(株)
同	日野 洋一	(株)鉄人化計画
同	吹浦 忠正	拓殖大学
同	松谷 明良	(株)ビクトリア観光
同	山口 悟	京楽観光(株)
同	吉村 泰彦	JCMシステムズ(株)
監事	加藤 義久	日本みらい会計事務所
同	○林 和宏	(株)ライズ
特別参与	松田 高志	(社)同友会

副会長に大久保正博(大丸商事(株))、兼次民喜(株)オリンピア)、谷口久徳(株)ニラク)、筒井公久(株)SANKYO)、韓裕(株)マルハン)、福井章(株)ボネール)、山田久雄(株)九州(株)ボネール)、山田久雄(株)九州



議長団(奥3人)の進行で議事を進める日遊協通常総会

平成25年度決算を承認 今期活動は事業別提示

平成25年度事業報告書及び決算報告書が承認された。25年度の正味財産合計は6億3996万円の前年度より921万円の増だった。26年度事業計画書及び収支予算書が報告された。26年度は事業活動収入3億8500万円、同支出3億9600万円で、1100万円の赤字を見込んでいる。今回、一般社団法人への移行に

より、正味財産の公益目的と認められた部分を消化していく形になるため、事業活動収支が事業別に提示された。内容は、①公益目的支出計画事業 ②その他の事業(共益事業) ③法人会計(管理費)の3項目に区分され、このうち公益目的支出計画事業費は、健全化適正化事業費6110万円、社会貢献・環境対策事業費2040万円、さわやか福祉財団寄付10万円、計8160万円が計上された。

「遊べる機械へ内規変更」

金沢日工組理事長説明

篠原専務理事が「業界における諸問題、当面の課題」と題し、カジノ法案と自民党の風営法議連のそれぞれの動向、業界への影響等について講演した。

日工組の金沢全求理事長、渡辺圭市理事、保谷誠技術部長が、ファン拡大に向けた今後の遊技機について、日工組内規の変更に絡めて説明した。金沢理事長は、2つの課題として、①若いファンの増加と休眠層の復活 ②将来に向けた幅広い遊技性の機械の開発——を挙げた。①については、「内規の変更でよく回る面白い遊技機を早

遊べる遊技機への取り組みを説明する左から(日工組の渡辺圭市理事、保谷誠技術委員、金沢全求理事長)



議案を提案する篠原弘志専務理事、最近の情勢について講演も行った(左は伊東慎吾 常務理事)

監事に就任した林和宏氏

専門委員会等担当理事

広報調査委員会 韓 裕 (副会長)
 人材育成委員会 谷口 久徳 (副会長)
 社会貢献・環境対策委員会 知念 安光 (理事)
 遊技機委員会 大久保正博 (副会長)
 中古機流通PT 和久田守彦 (副会長)
 篠原 弘志 (専務理事)
 依存問題対策PT 伊東 慎吾 (常務理事)
 風営法PT 篠原 弘志 (専務理事)
 流通勉強会 福井 章 (副会長)

その他委員会等担当理事

リサイクル推進委員会 篠原 弘志 (専務理事)
 遊技産業健全化推進機構 大久保正博 (副会長)
 セキュリティー対策委員会 山田 久雄 (副会長)
 知念 安光 (理事)
 中古機流通協議会 樋口益次郎 (理事)
 篠原 弘志 (専務理事)
 遊技産業活性化委員会 大久保正博 (副会長)
 遊技産業PR(仮称)WG 岸野 誠人 (会長)
 インターネット広告協議会 西村 拓郎 (理事)
 篠原 弘志 (専務理事)
 遊技産業新経営者会議 韓 裕 (副会長)
 西村 拓郎 (理事)
 風営法WG 大久保正博 (副会長)
 篠原 弘志 (専務理事)
 リカバリーサポートネットワーク 伊東 慎吾 (常務理事)
 貯玉補償基金 庄司 孝輝 (会長)
 白石 良二 (理事)
 篠原 弘志 (専務理事)
 伊東 慎吾 (常務理事)

急につくっていく。射幸性を追うのではなく、MAXはMAXで必要だし遊パチは遊パチで必要だ。その真ん中のライト、ミドルをいかに定着させるかを課題としてやっていく」としている。②については、「不正に強くプラスチックがあるECO遊技機等の開発に取り掛かっている。さらにどんな機械がファンにとつて望ましいのか、活性化委員会でホール団体と一緒に議論していく」と述べた。

「あの時の思いを胸に」

エ・絵最優秀2人を表彰

第4回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクールで最優秀賞を受賞した仙台市、会社員鈴木秋乃さん(26)(エッセー部門)、横浜市、フリーター松井美晴さん(25)(絵手紙部門)の2人の表彰式

が行われた。鈴木さんには盾と副賞の旅行券30万円分、松井さんには本人の作品をあしらった絵皿と副賞の旅行券15万円分が、審査委員長を務めた庄司会長と福山裕治広報調査委員長から手渡された。松井さんは「パチンコはまだ数えるほどしか打ったことがないのですが、この受賞をきっかけにこれから楽しくパチンコを打てたらいいなと思っています」とうれしさを語った。

鈴木さんは「あの震災の直後、日常という日々を失う中で私は兄と一緒にパチンコを打ちました。あの時の安心感とうれしさといつたらなく、胸にこみ上げるものがありました。一緒にホールにいたたくさんのお客様も同じ気持ちだったと思います。業界の方々はたくさんさんの批判と逆風で悔しい思い

私はあると思います、もあると思いますが、

「横断的組織を活かして」

楠芳伸保安課長が講話

警察庁生活安全局、楠芳伸保安課長が講話(大門雅弘課長補佐が代読)を行った。同課長は、射幸性の抑制、のめり込み問題への取組み、賞品買い取り事犯の絶無、賞品取り揃えの充実、市場価格に基づく適切な賞品提供、不正改造及び無承認変更事犯の絶無、広告宣伝の健全化、ホールでの置き引き対策の8点に絞り、日遊協が横断的組織としての特色を発揮して業界をけん引していくよう強調した。(6〜11ページに課長講話)

深谷相談役に表彰状

6期12年にわたり日遊協会会長を務め昨年6月に退任した深谷友尋相談役に、庄司会長から功労役員の表彰状が授与された。

副会長を退いた安藤氏、監事を退いた平澤氏が相談役に委嘱された。金海龍海、庄司正英、岩見吉朗、若松千容子、深谷友尋の5相談役が再委嘱された。団体加盟している同友会の代表理事松田高志氏が特別参与に再委嘱された。

新定款に則り、常勤理事(専務理事、常務理事各1名)の報酬額が提案され承認された。

総会では出席正会員109社、委任状提出正会員161社、計270社で、総正会員(335社)の過半数に達し、定款第20条の規定により有効に成立した。

380人が集い懇親会盛況 意見交換もにぎやかに

通常総会に引き続き、6月5日夕、ハイアットリージェンシー

東京で懇親会が開かれた。業界関係者を中心に380人が参加した。懇親会に先立ち、第4回パチン

コ・パチスロ エッセー絵手紙コンクールで最優秀賞を受賞した仙台市、鈴木秋乃さん(26)(エッセー)、



談笑する(左から)里見治日電協理事長、大泉政治メダル工業会理事長、庄司正英相談役、深谷友尋相談役



篠原菊紀日遊協理事(右)と話す大門雅弘課長補佐



平沢勝栄衆議院議員の軽妙で蘊蓄のあるあいさつに沸く懇親会会場

横浜市、松井美晴さん(25)(松手紙)が紹介され、盛大な拍手を浴びた。

懇親会の冒頭、庄司孝輝会長は、「カジノ立法化など厳しい問題が山積しているが、そういうことよりもわれわれ自身がどうするかというところが一番の問題だ。自分たちの団体というより、この産業をどうしようかということの一つを考えてほしい」と業界の結束を訴えた。

平沢勝栄衆議院議員

「国民の信頼、支援を」

来賓の平沢勝栄衆議院議員は国会の動向に触れながら、「パチンコ業界も政治家も国民の信頼、支援なくして成り立たない。これからも国民の信頼、支援を得るように努めて健全な発展に尽力してほしい」と述べた。警察庁保安課、大門雅弘課長補佐は、「健全化については警察の取り締まりだけではなく、業界の自浄作用が重要だ。その意味で日遊協の活動に期待している」と挨拶した。

青松全日遊連理事長

「尋常ならざる状況だ」

全日遊連、青松英和理事長は、「近江商人に『三方良し』という教

えがある。売り手に良く、買い手にも良く、世間のためにも良くなければ良い商売とはいえないという。この業界でいえば、実際はホールもメーカーも販社もそれぞれ自分のことを考えすぎて、この業界を支えていたではないか。この尋常ならざる状況を何とかするため、全日遊連も協力して頑張っていきたい」と述べた。

金沢日工組理事長

「休眠層に戻すために」

日工組、金沢全求理事長は、「日工組のこれからの機械づくりのねらいは、ライトユーザーを増やし、休眠層に戻っていただくことだ。面白くない、回らない、大当たりの期待感がない、遊技料金がかりすぎる等の原因がいわれているから、まず面白い機械、回る回る目が回るような面白い機械を出す」と述べた。

里見日電協理事長

「抜本的な規則改正を」

日電協、里見治理事長は、「ファンの減少で業界へのポデイーブローがだんだん効いてきている。このままでは今にわれわれの体力は消耗し、軽いパンチでノックアウト

トを食うだろう。若い人たちに遊んでもらうための機械づくりにもメーカーは努力しなくてはならないが、何よりも抜本的な規則改正が必要ではないかと思う」と述べた。新任の役員として和久田守彦副会長、林和宏監事が紹介された。全商協、中村昌勇会長が乾杯の発声をした。立食形式の会場は満員で、にぎやかな歓談の輪が広がった。最後に大久保正博副会長が中締めを行った。

懇親会のその他の来賓は次の通り (順不同・敬称略)

- (全日本遊技事業協同組合連合会) 西俊文(事務局長) (日本遊技機工業組合) 筒井公久(副理事長)、榎本善紀(同)、井上孝司(同)、新井悠司(理事)、渡辺圭市(同)、緒方右武(顧問)、中川尚也(理事・事務局長) (日本電動式遊技機工業協同組合) 原田宗宏(専務理事)、橋高照忠(常務理事)、平野薫美(事務局長)、中西馨(技術部長) (全国遊技機商業協同組合連合会) 高橋稔(専務理事)、久我明輝(事務局長) (回胴式遊技機商業協同組合) 伊豆正則(理事長)、小林幸二(顧問) (遊技場自動補給装置工業組合) 梁川誠市(理事長) (遊技場メダル自動補給装置工業会) 大泉政治(理事長)、今井茂喬(理事・事務局長) (一般社団法人遊技場自動サービス機工業会) 古宮重雄(理事長)、山田崇晴(事務局長) (一般社団法人日本遊技産業経営者同友会) 松田高志(代表理事)、薛博夫(副代表理事)、東野昌一(同)、金光淳用(同)、古屋孝章(事務局長)、宮本成徳(事務局長) (一般社団法人余暇環境整備推進協議会) 笠井聰夫(代表理事)、大原栄奉(常務理事)、田中弘(事務局長) (一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会) 金本朝樹(代表理事)、中島基之(専務理事) (一般社団法人プリベイドシステム協会) 小堀豊(理事長)、恵良道信(専務理事) (一般社団法人電子認証システム協議会) 広瀬清(代表理事)、越野友春(事務局長) (東京都遊技業協同組合) 阿部恭久(理事長)、松田洋(専務理事)